

ゲノミック評価活用による 牛群改良の推進について

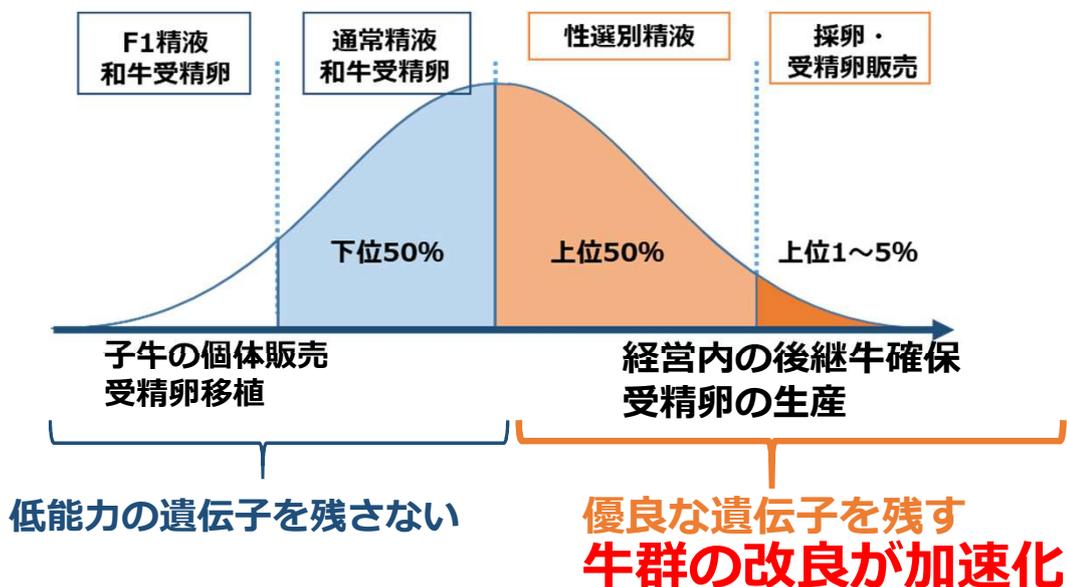
○福島県の現状

福島県の経産牛1頭当たりの生乳生産量は全国平均を大きく下回っています。（農林水産省 R4,R5「畜産統計」、R4「牛乳乳製品統計」より算出）

福島県 8,231 kg
全国平均 8,971 kg **740kgの差！**

○ゲノミック評価の活用

ゲノミック評価は、農場の次世代雌牛の遺伝的能力を把握し、どの牛を残せば効率的に改良が進むかを判断する材料になります。



○中核酪農家生産基盤強化事業

(1) ゲノミック評価

育成牛（12ヶ月齢以下）の遺伝的能力評価に対する助成
補助率：1/2以内（ただし上限5千円/頭）

(2) 受精卵生産用の性選別精液

年度内に購入、受精卵生産に供した性選別精液に対する助成
補助率：1/2以内（ただし上限9千円/本）※種雄牛の能力要件あり

(3) 性選別受精卵

年度内に購入し、事業期間内に移植した乳用牛性選別受精卵に対する助成
補助率：1/2以内（ただし上限130千円/個）
※受精卵生産に供した種雄牛及び雌牛の能力要件あり

(4) 増頭奨励金

成牛の飼養頭数120頭未満の経営体が初妊牛導入により乳用雌牛を増頭した分に対して奨励金を交付 ※導入頭数の上限は60頭
補助率：定額（275千円以内/頭）